

アーキテクチャ転換の勝利のセオリー【オンラインライブ】 (4125104)

企業システムがビジネス・イノベーションに貢献するDX時代を迎えようとしています。新技術を効果的に取り入れるためには、ふるいITアーキテクチャと決別し、柔軟で拡張性のあるITアーキテクチャへの転換が必要です。問題提起にはじまり、EAの本質を説くとともに、アーキテクチャ転換への解決策、さらには、近未来の戦術について、講師より実践的レクチャーをいたします。

開催日時	2025年8月29日(金) 9:00-16:00ライブ配信
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(ITアーキテクチャ)
カテゴリー	IS導入(構築)・IS保守 専門スキル
講師	中山嘉之 氏 (株式会社アイ・ティ・イノベーション プリンシパルコンサルタント、元 協和発酵キリン(現:協和キリン) 情報システム部長) 1982年より協和発酵工業(現・協和キリン)の情報システム部にてDBモデラー兼PMを務める。2005年からシステム部長とアーキテクトの2足のわらじを履き、2010年「エンタープライズ・データHUB」を完成。2013年よりアイ・ティ・イノベーションのコンサルタントに転じ、数多くのユーザ企業のITアーキテクチャの設計に携わる。2023年「エンタープライズアーキテクチャのセオリー」を執筆。
参加費	J U A S 会 員 / I T C : 35, 200円 一 般 : 45, 100円 (1 名 様 あ た り 消 費 税 込 み 、 テ キ ス ト 込 み) 【 受 講 権 利 枚 数 1 枚 】
会場	オンライン配信(指定会場はありません)
対象	・基幹系システムの再構築を検討されている方、悩まれている方・度重なるシステム改修でシステムがカオスになってお困りの方・自社のシステムの今後のアーキテクチャ策定に悩まれている方・ユーザー企業情報システム部門の次世代像に興味のある方・上記に関心のあるユーザー企業IT企画担当、SIベンダー担当者 中級
開催形式	講義・個人演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

ライブ配信 (Zoom ミーティング) **【セミナーのオンライン受講について】**

■テキスト

開催7日前を目途にマイページ掲載

■開催日までの課題事項

特になし

企業システムがビジネス・イノベーションに貢献するDX時代を迎えようとしています。

新技術を効果的に取り入れるためには、ふるいITアーキテクチャと決別し、柔軟で拡張性のあるITアーキテクチャへの転換が必要です。

問題提起にはじまり、EAの本質を説くとともに、アーキテクチャ転換への解決策、さらには、近未来の戦術について、講師より実践的レクチャーをいたします。

<受講者の声>

- ・書籍で拝読させていただいた内容を具体的に理解できた。
- ・自分が担当しているシステムの次期アーキテクチャの設計をする必要があり、データHUBの有用性など勉強になった。

<内容>

PART1. 何をなすべきか

- ・なぜ今アーキテクチャ設計か?
- ・「プロジェクト」より「プロダクト」の成功

- ・ ITアーキテクチャの担い手は
- ・ 企業システムのスコープ拡大

PART2. アーキテクチャ

- ・ EA: ITアーキテクチャの特徴
- ・ DA: ビジネスを表すER図の工夫
- ・ AA: アプリアーキテクチャに必須のドキュメント
- ・ TA: あるべき姿はTAをネックにして

PART3. 戦略ソリューション

- ・ データHUBの構築手順
- ・ マスタデータHUB
- ・ トランザクションデータHUB
- ・ 企業内各種DWHの位置付け

PART4. 今後に向けた戦術

- ・ 段階的アーキテクチャ転換のシナリオ
- ・ AMO (Architecture Management Office) の設置
- ・ グローバル・データHUBの展開
- ・ アプリケーション開発方法論